

強い農業づくり交付金

新規就農者の育成・確保のうち

- 農業研修教育施設等整備 -
- 県農大等再チャレンジ活用推進 -

【平成21年度概算要求額：29,150,475（24,913,846）千円の内数
（うち再チャレンジ優先枠 300,000（300,000）千円）】

メニューのポイント

農業研修教育の中核的機関である道府県農業大学校等が実施する担い手育成のための施設等整備及び再チャレンジを行う者に対する就農に向けた実践的な研修機会を充実するに当たっての体制整備を支援します。

（事例）

- ・ A 県では、他産業従事者、中高年齢者等を対象に、就農促進に向けた技術の習得を図るため、実習や講義、先進農家等での現地研修を組み合わせた1年間の実践的研修を実施しています。
- ・ B 市では、既存の農業体験施設を農業研修教育施設として改修し、団塊世代等を対象とした農業研修を実施しています。

政策目標

60歳以上の離職就農者数を5割増	6万人（平成23年度）
4.2万人（平成15年度）	毎年1.2万人程度を就農
新規就農者数（39歳以下）	

< 内容 >

1. 担い手育成のための施設等整備の支援

道府県農業大学校等において将来の担い手育成のための実践的研修教育向け園芸ハウス、ガラス温室等の整備及び地域段階における農業者等を対象とした実践的な研修を行うための施設整備を支援します。

【交付率：1/2以内】

2. 再チャレンジに係る支援

（1）カリキュラム策定・実施等の支援

研修教育課程のカリキュラム策定やその実施のための指導員の配置、就農に向けた計画策定指導や就職支援を担当する専任者の配置を支援します。

【交付率：定額】

【（再チャレンジ優先枠） 120,000（120,000）千円】

（2）施設整備の支援

研修教育課程の設定により、追加的に必要となる研修教育棟や宿泊棟、実習ほ場等の施設整備を支援します。

【交付率：1/2以内】

【（再チャレンジ優先枠） 180,000（180,000）千円】

< 事業実施主体 > 都道府県、青年農業者等育成センター、市町村、NPO法人等

< 事業実施期間 > 平成17年度から平成21年度まで
平成19年度から平成21年度まで（再チャレンジ優先枠）

[担当課：経営局人材育成課（03-6744-2160（直））]